

地方創生加速化交付金 効果検証シート

担当部局課名	経済部観光交流課 教育部文化財保護課
--------	-----------------------

A. 基礎情報

(単位：円)

加速化交付金対象事業の名称	総事業費 (事業実績額)	加速化交付金充当額	一般財源
大河ドラマ「真田丸」を活用した地域活性化事業	92,044,316	45,866,516	46,177,800

総合戦略における位置付け		事業開始	事業終期
基本目標	目標1「安定した雇用を創出する」、目標2「新しい人の流れをつくる」	平成28年3月	平成29年3月
施策	施策1-2 新産業の創出、施策2-1 観光交流の促進		

事業概要	内容	金額
事業概要	①歴史資源の観光宣伝：沼田公園内観光案内所の運営等	7,320,000円
	②歴史資源の活用：真田の歴史を紹介するためのパンフレットとプロモーショングッズの作成及びイベント開催	9,850,042円
	③大河ドラマ「真田丸」の活用推進：ドラマ展開催のための負担金（利根沼田真田丸プロジェクト推進協議会）	15,000,000円
	④沼田城址の発掘調査：沼田城址の発掘調査	13,696,474円

B. KPIの設定・成果

○本事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認【担当課】

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称、意味付け、当初値・目標値・実績値等について記入。

	KPI1	KPI2	KPI3	KPI4	KPI5	
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称	ウエブアンケートにおける沼田市の観光における魅力として「城下町の歴史」を上げる人の率（平成27年度8月調査 19.1%）	創業・第二創業件数				
KPIの意味付け	イ. KPIの分類	④総合的なアウトカム	③交付金事業のアウトカム			
	ウ. KPIの対象	②沼田市単独 として目指す水準	②沼田市単独 として目指す水準			
	エ. KPIの測定方法	① インプット ② アウトプット ③ 交付金事業のアウトカム ④ 総合的なアウトカム	交付金事業に投入される資源（ヒト・モノ・カネ・時間） 交付金事業による活動量（仕事の量・頻度・投下時間） 交付金事業から直接的にもたらされる成果・効果 様々な事業・施策・政策の総体によって得られる成果・効果			
イ. 事業実施計画の申請時点での、KPIの当初値	当初値 [単位] 19 % 計測年月 平成 27 年 8 月	当初値 [単位] 0 件 計測年月 平成 27 年 8 月	当初値 [単位] 計測年月 平成 年 月	当初値 [単位] 計測年月 平成 年 月	当初値 [単位] 計測年月 平成 年 月	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	オ. 本事業終了時点（平成29年3月）	目標値 [単位] 25 %	目標値 [単位] 1 件	目標値 [単位]	目標値 [単位]	
	カ. 数年後	目標値 [単位] 30 % 目標年月 平成 32 年 3 月	目標値 [単位] 5 件 目標年月 平成 32 年 3 月	目標値 [単位] 目標年月 平成 年 月	目標値 [単位] 目標年月 平成 年 月	目標値 [単位] 目標年月 平成 年 月
	キ. 備考欄	目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。				
本事業終了時点での、KPIの実績値	ク. 設問オの目標値に	④目標値の達成は5割未満	①目標値を達成			
	ケ. 本事業終了時点（平成29年3月）	実績値 [単位] 19 % 計測年月 平成 29 年 3 月	実績値 [単位] 1 件 計測年月 平成 29 年 3 月	実績値 [単位] 計測年月 平成 年 月	実績値 [単位] 計測年月 平成 年 月	実績値 [単位] 計測年月 平成 年 月
	コ. 備考欄	実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。				

○交付金事業の地方創生への効果【担当課】

3. 設問2のク設問オの目標値に対する達成度合いの回答結果を踏まえた総合的な判断の上で、本交付金事業の地方創生への効果について記入。

事業効果	＜凡例：選択肢＞								
③地方創生に効果があった	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 地方創生に非常に効果的であった</td> <td>例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>② 地方創生に相当程度効果があった</td> <td>例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>③ 地方創生に効果があった</td> <td>例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>④ 地方創生に対して効果がなかった</td> <td>例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合</td> </tr> </table>	① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合								
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合								
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合								
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合								

C. 事業を進める中での課題・苦労、及びそれに対する取組の修正・改善

4. 事業を進める中での課題・苦労について。【担当課】

事業を進める中での課題・苦労の有無	①課題・苦労があった
<凡例：選択肢>	
①	課題・苦労があった
②	課題・苦労はほとんどなかった
③	課題・苦労は全くなかった

4-1. 設問4で「①課題・苦労があった」と回答の場合、以下の中から、特に苦労したことを最大で3つまで記入。

特に苦労したこと（3つまで）	②事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
	④事業実施場所（施設・設備）の検討
	⑦庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成
<凡例：選択肢>	
①	事業推進体制の検討
②	事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
③	ビジネスモデル・資金繰りの検討
④	事業実施場所（施設・設備）の検討
⑤	規制・許認可への対応
⑥	庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成
⑦	庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成
⑧	連携先の地方公共団体との調整・合意形成
⑨	その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった等）

※⑧については、広域事業の場合のみ選択。

「⑨その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入。

4-2. 設問4-1の課題・苦労に対応して、取組の修正・改善を行った場合、その内容について、可能な範囲で具体的に記入。

注) 事業実施計画の申請時点での想定との相違点に対し、修正・改善により取組を前進させた点を記入。

--	--

D. 今後の事業展開方針

5. 本事業の今後の方針について記入。【担当課】

今後の方針	①事業の継続（計画通りに事業を継続する）
<凡例：選択肢>	
①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

E. 効果検証

○外部組織による効果検証

6. 外部組織による効果検証（沼田市市民構想会議）

外部組織による効果検証の時期				外部組織による本事業の評価	
H	29	年	10	月	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見

<凡例：選択肢>

①	地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見
②	地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、との意見

主な意見	
------	--